



学校だより

東京都立府中けやきの森学園
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476
<https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp>
令和8年2月27日(金)発行 第13号

多様な教育機会の提供に向けて

副校長 福永 顕

寒い日々が続いておりますが、校舎の中では子供たちの元気な声が響き渡り、教室には真剣に学びに向かう姿が見られます。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。先日はお忙しい中、個別面談に御出席いただき、誠にありがとうございました。お子様の学校での様子や学習の進捗について、直接お話しさせていただく貴重な機会となりましたこと、心より感謝申し上げます。

本校では、子供たちが心身ともに健やかに、そして安心して学校生活を送ることができるよう、日々の教育活動の中で「ウェルビーイング (Well-being)」の向上を意識した取組を進めてまいりました。一人一人の頑張りや、日々の積み重ねが形となって表れてくるこの時期、子供たちが自分の成長を実感できるように、保護者の皆様と情報を共有しながら、子供たちに学びの成果を丁寧に伝えてまいります。

さて、東京都教育委員会では、令和5年度から都内の公立学校を対象に、多様な体験活動の機会を提供する「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」に取り組んでいます。2月10日(火)には、知的障害教育部門の児童・生徒を対象に、「金管五重奏」(東京都交響楽団)を演奏していただきました。また、2月5日(木)には、インクルーシブな学びの支援を行う企業やNPO等と連携し、インクルーシブ社会の担い手を育成していく「インクルーシブな学び」プログラム事業として、知的障害教育部門中学部の生徒を対象に、「ソーシャルサーカスワークショップ」(認定NPO法人スローレーベル)を実施していただきました。2月21日(土)には、「自由な美術活動空間」プロジェクトに、肢体不自由教育部門中学部生徒3名が参加し、思う存分に表現しました。プロの演奏や演技を目の前で観たり聞いたりする体験は、何事にも得難いものです。本物に触れることで、子供たちは表現の迫力や思いの込められた姿に心を動かされ、新たな興味や意欲が芽生えます。こうした体験を大切にしながら、今後も“本物に触れる学び”を届けていきたいと思っております。

学校では、引き続き、手洗い・うがいの励行、教室の換気、必要に応じてマスクの着用など、基本的な感染症対策を徹底してまいります。御家庭でも体調管理や登下校時の安全確認など、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

お問合せ

御連絡は、下記までお願いいたします。

◇平日 (午前8時30分から午後6時まで)

042-367-2511 (学校の代表番号)

肢体不自由教育部門小学部高学年「国語・算数」

肢体不自由教育部門小学部主任 主任教諭 片山 由宇子

小学部高学年B1グループでは、国語・算数の「お手紙を届けよう」の授業で、日頃からお世話になっている先生や給食を作ってくださっている栄養士の方へ、手紙を書いて直接渡しに行きました。

手紙を渡すにあたっては、宛名や自分の名前を書くなどの基本的な手紙の書き方や両手で丁寧に渡すなどの渡し方について、繰り返し学習しました。直接手渡して、相手から「ありがとう。」や「お手紙嬉しいよ。」と言ってもらい、児童たちはとても嬉しそうでした。

学習のまとめとして、保護者に対し「頑張っていること」を手紙にして、東京外国語大学付近の郵便ポストまで投函しに行きました。校外に出て、安全に気を付けて歩いたり、車いすを操作したりして、無事に郵便ポストに手紙を入れることができました。

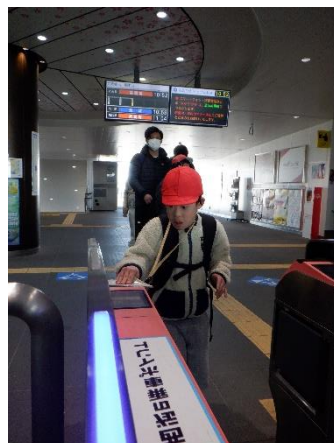
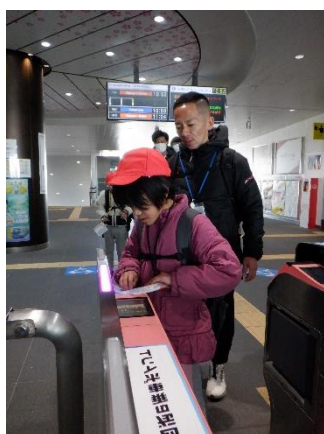


知的障害教育部門小学部高学年「生活単元学習」

知的障害教育部門小学部主任 主任教諭 鬼岩 真也

小学部高学年は、2月4日（水）の生活単元学習の時間に電車とバスの乗車学習を実施しました。

5年生と6年生は多磨駅から武蔵境駅間の電車での移動を、4年生は多磨駅バス停から警察学校東門バス停までのバス移動を体験しました。事前学習で確認した、「車内では静かに過ごす。」「降車する人を待ってから乗車する。」などのルールをしっかりと意識して行動する様子が多くの児童に見られ学習の成果を感じられました。少し緊張をしつつも、ICカードでの端末へのタッチも落ち着いて行うことができていました。



肢体不自由教育部門中学部「書初め」

肢体不自由教育部門中学部主任 主任教諭 佐藤 英樹

中学部2年生は、新年の特別活動で「書初め」に取り組みました。通常は墨汁を使うところを、現代アートと融合させて、醤油を使用した「醤油画書初め」を体験してみました。それぞれの新年の抱負や夢を醤油と筆で書初めし、ドライヤーであぶることで、香ばしい香りを体験しながら作品作りをしました。書いた直後は薄い色の醤油画ですが、あぶりだしのようになり色が濃くなり、独特の色彩を放つ作品となりました。完成した作品を皆で鑑賞し、新しい年の抱負や夢を、確認しました。



知的障害教育部門中学部「ソーシャルサーカスワークショップ」

知的障害教育部門中学部副主任 主任教諭 米本 浩二

2月5日(木)、中学部では西棟体育館を使用して、「インクルーシブな学び」ソーシャルサーカスワークショップを実施しました。認定NPO法人スローレーベルの3名の講師陣(リーダー)が、ひもを巧みに操った中国ゴマや皿回し、バランス技、ジャグリングなどの演技を披露してくださいました。その後は生徒たちが各自で、やりたいものを選んで楽しみました。全体では大きく伸びる輪をみんなで持ち、左右に歩いたり、しゃがんだり背伸びをしたり、ジャンプをしたりしてリズムに乗って楽しく体を動かしました。また、3人組でチームを作り、前にパスした人の同じ投げ方、渡し方、次に自分の好きな投げ方、渡し方でパスを楽しみ、お互いを意識し合ったボール投げに取り組みました。普段とは違った仲間と一緒に活動することで、チームスポーツの楽しさを味わうこともできました。



肢体不自由教育部門高等部の活動

肢体不自由教育部門高等部主任 主任教諭 平田 愛子

肢体不自由教育部門高等部では、具体的・直接的な体験活動を授業に多く取り入れるように努めています。身体の動きの制限にイメージをもちにくい場面でも、実践の場を多く作ることで、生徒たちの確かな学びにつなげています。

B2グループでは、数年ぶりに買い物学習に出かけました。教室でお金や商品の模型を使って積み重ねてきた練習の成果を実際の店舗で発揮する機会となりました。値段を何度も計算して悩む生徒、お店の中を何周もしてやっと商品を見つけた生徒、見つけたものの高い位置にあって手が届かず、周囲に助けを求める生徒など、さまざまな姿が見られました。どれも教室だけでは得られない貴重な経験で、生徒たちの表情には大きな達成感があふれていました。

また先日は、初めて知的障害教育部門高等部とコラボして音楽フェスを行いました。授業で取り組んでいるダンスや歌を互いに披露し合い、これまで交流の機会が少なかった生徒同士と一緒に盛り上がることができました。舞台上に立ち練習の成果を披露するという経験も、生徒たちにとって良い刺激になったと思います。これからも、今だからこそできる学びを大切に、指導の充実を図っていきます。



知的障害教育部門高等部の活動

【1年生】 知的障害教育部門高等部第1学年主任 主任教諭 山田 由佳

1月19日(月)から2月6日(金)の期間で「就業体験」を行いました。9月の進路見学では、進路先の見学のみでしたが、今回は2日間、各事業所や企業などへ行き、実施に仕事を体験させていただきました。一人一人が「できた」「やりきった」という達成感と共に、自分の得意なことや課題を知る良い機会となりました。



【2年生】 知的障害教育部門高等部第2学年主任 主任教諭 兵庫 侑子

1月28日(水)に他学部・学年を招待して「音楽フェス」を開催し、それぞれのグループで練習したダンスや歌を発表しました。招待した、多くのお客様にお越しいただき、「楽しかった」という声も多く大好評でした。生徒一人一人が目標をもち、取り組んだことで達成感を感じられる良い時間となりました。



【3年生】 知的障害教育部門高等部第3学年主任 主任教諭 平 貴子

3月の卒業を控え、多くの教科で卒業に向けた取組を行っています。美術では、卒業制作としてオルゴールを作りました。

好きな色や形をデザインし、それぞれ工夫をこらして作りました。

また、卒業式に飾る大きな桜の木の壁面装飾も、皆で協力して作りました。卒業までのカウントダウン。さみしい思いもありますが、一日一日を大切に過ごしています。



球技部 バスケットボール部門

令和7年度第69回東京都特別支援学校バスケットボール大会

知的障害教育部門球技部顧問 教諭 東野 流生

2月4日(水)、5日(木)、京王アリーナTOKYOにて、バスケットボール大会が開催されました。本校からは、知的障害教育部門高等部の生徒13名が、バスケットボールチームとフレンドリーチームにエントリーし出場しました。バスケットボールチームは、昨年の雪辱を晴らすべく奮闘し、準々決勝では延長戦の激戦を制して決勝戦へ挑みました。決勝戦では、惜しくも敗れてしまいましたが準優勝をすることができ、昨年度より1つ順位を上げることができました。フレンドリーチームは、1つのボールを追いかけ、果敢にドリブル突破を図り、シュートまでつなげ、全員バスケをすることができました。年度始めは、ルールが分からなかったり、動きかたが分からなかったりした選手も練習と試合を重ねるに連れてみるみる上達していきました。大会終了後は、両チームとも充実感のある顔で終わることができ、思い出に残る大会となりました。



パラスポーツ部 ハンドサッカー部門

令和7年度東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会

肢体不自由教育部門パラスポーツ部顧問 主任教諭 長田 望

2月14日(土)、駒沢オリンピック公園体育館でハンドサッカー大会が行われました。

本校からは、高校生主体のチームと小中学生主体のチームの2チームで出場しました。今まで経験したことのない大きな体育館で大歓声の中プレーすることに緊張と不安で一杯でしたが、9月から練習を積み重ねてきた成果を存分に発揮することができました。チームとしては惜しくも入賞には至りませんでした。得点王や敢闘賞を受賞した生徒は、今後の自信につながりました。ハンドサッカーは、誰でも参加できるアダプテッドスポーツです。本校は単独で唯一2チーム出場しました。それだけハンドサッカー熱があります。この熱量を絶やさないためにも、子供たちのもっている力を最大限に発揮できるように、今後も指導を続けてまいります。



知的障害教育部門高等部3年卒業遠足

知的障害教育部門第3学年主任 主任教諭 平 貴子

2月13日(金)、京王よみうりランドへ行ってきました。3学期に入り、当日まで何回かの事前学習を行い、「ランチメニューの選択」、「当日のコース決め」、そして「お土産選び」と、クラスごとに話し合っ、少しずつ期待感を高めていきました。当日は天気にも恵まれて、クラスごとに決めた行程で乗り物に乗ったり、やきそばパッケージ作りやノート作り体験、あしかショーなどを見学したりして楽しみました。卒業前の忘れられない、仲間との思い出がまた一つ増えました。



知的障害教育部門「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」

知的障害教育部門 主任教諭 平田 周子

2月10日(火)、笑顔と学びの体験活動プロジェクトを開催しました。今年度は、東京都交響楽団による音楽鑑賞教室で、知的障害教育部門の小学部、中学部、高等部の児童・生徒たちが一堂に集まり、管楽器五重奏を楽しみました。トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバの各楽器の紹介や代表曲の演奏、ジブリやディズニーなどの聞きなじみのある曲のメドレーなど、盛りだくさんのプログラムでした。特に10kgほどの重さがあるというチューバの紹介では、その重低音に驚きと歓声があがっていました。ジブリなどのメドレーでは自然と手拍子が起こり、会場に一体感が生み出されました。プロの奏者による演奏を目の前で聴き、生演奏による音の響きや息遣い、空気感を感じ取ることができる貴重な体験となりました。

